

みつくら

令和 6年 4月15日 第408号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

までの4団体の議長を務めた。自治公民館は第4号事案、自治会、自主防災会は第3号議案まで原案通りに承認された。採決の方法は拍手や挙手など、様々に議長が工夫してなごやかに行われた。

5分ほどの休憩後に、農家組合の総会が開会され、菅原昭悦組合長が「一度も農業をしたことがないものが務まるか心配したが皆様のお陰で務める事が出来ました。今年度は石鳥谷支部の副会長にあたり4月の引継ぎまではまだ組合長です」と挨拶した。第4号議案まで上程されて満場一致で承認された。最後は、新組合長に選任された菅原純一さんが前に出て挨拶した。閉会後は弁当と缶ビールを手にも帰途に就いた。

9区が4団体の総会を行う

9区では3月23日の午後から4団体の総会を休憩を含みながら開催した。最初は下大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）の総会となり、会員数139名中、本人出席45名、委任状81名で総会成立宣言後に議長を高橋英善さんを指名して議事に入った。事業報告では、「多面的機能支払交付金に係る活動計画書」の最終年度と、基盤整備事業を踏まえた施設の長寿命化事業終了の決算報告があった。事業計画では次期5年間の活動計画を策定し、長寿命化事業にかかわってイノシシ被害の対策を含めた検討を考えているとあった。最後の役員選出では専任の副代表が決定され、満場の挙手で可決された。

続いて、第9区自治公民館（菅原邦典館長）の総会が会員数150名中、本人出席44名、委任状97名で総会成立宣言の後、同じく高橋英善さんを議長に選出し事業報告と収支報告が行われ、152回の公民館利用回数報告があった。事業計画では、今年は「さなぶり」と「新年交賀会」の親睦会を予定しているとあり、満場一致で可決された。

次に、第9区自主防災会（畠山孝二会長）の総会に入り、高橋英善さんを3回目の議長に選出し、5年度の事業と31,532円の決算報告や災害時等緊急連絡体制案など4件の議案が可決された。

最後は第9区農家組合（菅原章博組合長）で、組合員数50名中、本人出席41名、委任状7名の総会成立宣言後、最後となる高橋英善議長で始まった。事業報告では、研修会の実施や地域計画の提出のほかに「生産調整推進特別会計」の出入りがなく通帳廃止の案などの9議案が満場一致で可決された。昨年に引き続き、今回の合同総会後の懇親会は行わず、各自弁当とお酒を手にも帰途についた。

入学・卒業おめでとう大会が行われる

大瀬川地区子供育成会（辻村 智会長）では3月17日に、大瀬川振興センターで子供達12名と父兄が参加して入学・卒業おめでとう大会を行った。児童数が年々減少する中、今年の新1年生は7区が野中家の菅原幸久（むく）さん、下西海地家の畠山楓（かえで）さん、久保家の佐藤飛鳥（あすか）さん、8区が木ノ宮家の熊谷結衣（ゆい）さんの4名が紹介された。

その後、交通安全教室も開かれ菅原房子・佐藤倉吉交通指導員のもと自転車の乗り方や点検のDVD鑑賞や手本を親子で学び、帰りには反射材と交通安全冊子が手渡された。

表彰（敬称略）

花巻市児童生徒栄誉賞 辻村大雅（石小6年）

人事（敬称略）

石鳥谷第七区行政區長 菅原敏幸（新）
 石鳥谷第八区行政區長 菅原昭悦（新）
 石鳥谷第九区行政區長 山形圭子（新）
 第8区自治会長 熊谷秀夫（新）副会長 千田安彦（新）
 第7区農家組合長 辻村 吏（新）副組合長 菅原照子（新）
 第8区農家組合長 菅原純一（新）副組合長 板垣正博（新）
 第9区農家組合長 藤原咲子（新）副組合長 熊谷 豊（新）
 第7区自治公民館長 菅原清孝（再）副会長 辻村 吏（新）
 菅原敏幸（新）
 第8区自治公民館長 熊谷秀夫（新）副館長 千田安彦（新）
 第7区自主防災会長 菅原敏幸（新）副会長 辻村 吏（新）
 菅原清孝（再）
 第8区自主防災会長 菅原昭悦（新）副会長 熊谷秀夫（新）
 菅原純一（新）
 第9区自主防災会長 山形圭子（新）副会長 菅原邦典（再）
 藤原咲子（新）
 大瀬川子供育成会長 板垣勇司（新）副会長 板垣 徹（新）

大瀬川たろし滝測定保存会
 会長 熊谷幸夫（再）副会長 菅原清昇（新）菅原洋二（再）
 監事 辻村 吏（再）板垣 公（再）畠山好之（再）

7区 大瀬川高齢者クラブが解散

長年にわたって大瀬川の活性化に取り組んできた大瀬川高齢者クラブ（菅原善治郎会長会員9名）が令和6年3月22日の総会で解散となった。

大瀬川に初めてできた老人クラブは、大瀬川老人クラブで昭和28年に大瀬川全体の高齢者で組織し、会長は熊谷米蔵（小屋敷家）であった。この時には規約も無く任意組織であったが、昭和34年に石鳥谷町から老人クラブ設立の奨めがあり板垣種善が発起人となり同年9月に大瀬川長寿会が発足した。公的に認められた最初の老人クラブで、会長は菅原義雄（久左衛門家）で会員数は畑部落7名、7区23名、8区41名、9区26名計97名であった。

その後、昭和37年大瀬川長寿会から7区が分離し大瀬川第二老人クラブを設立、残った8区と9区は大瀬川長寿会から大瀬川第一老人クラブと名称変更した。更に昭和48年には、第一老人クラブから8区が分離し大瀬川中央長寿会が発足し、三団体となった。大瀬川高齢者クラブは、前身の大瀬川第二老人クラブから60年で解散となった。

7区自治公民館で3団体の総会開催

7区では、3月24日に7区自治公民館にて3団体（公民館・自主防災・農家組合）の総会が開催された。最初の自治公民館（菅原清孝館長）総会は、全51戸中、本人出席36名 委任状9名で総会成立後、議長に菅原康之さんが指名され議事に入った。公民館事業ではふれあい広場草刈り・花壇花植え（400本）の報告と、公民館周辺コンクリート修理工事（補助金148,500円+特別会計148,500円）の報告等があったのち4議案とも可決された。

また、子供会による神輿を公民館が協力し復活させてほしいとの要望があった。

続いて、7区自主防災会（畠山幸男会長）の総会に入り、菅原康之さんを2回目の議長に選出し、5年度の事業・収支決算と6年度の事業計画・収支予算と6年度の役員改選の3件の議案が可決された。

最後は第7区農家組合（佐藤 学組合長）で組合員数50戸中、本人出席34戸、委任状9戸で総会成立後、菅原康之さんの議長で議案の質疑が始まった。どの議案も満場一致で可決された。総会後は、久々に懇親会を行い賑わった。

8区4年ぶりの4団体合同総会

3月24日に8区の自治公民館、自治会、自主防災会、第八区農家組合の総会が振興センターで開催された。はじめに八区自治公民館の総会が行われた。開会の後に2期に亘り館長を務めた菅原洋二館長が「寒暖の差が大きい日が続いていますが皆さまのご協力を頂き、今年度はほぼ予定通りに実施できました。高齢化や若年層の減少などの課題もあります地域活性化の為に今後もご協力をお願いします」と挨拶した。来賓の活性化会議の熊谷秀夫会長が「4年ぶりの対面での総会おめでとうございます。去年の秋にプールが解体されて8区の花壇も整備されました。今後はプールの跡地をどの様に活用するか、皆様にアイデアを出して頂き検討していきます」と挨拶を頂いた。本人出席42名で総会は成立したと報告があり議長に熊谷恭一さんが選出され、農家組合

みつくら

令和 6年 4月15日 第408号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

8区で自主防災講習会実施

8区自主防災会・自治公民館合同の救命講習会が2月18日に大瀬川振興センターで21名の参加で行われた。花巻北消防署員5名の指導で参加者を4班に分け、救急車が来るまでの間を見込んだ約8分間（119番通報し、北署から大瀬川振興センターまで救急車が到着する時間）に心臓マッサージを毎分100回とAEDを使った訓練を全員が行った。この講習会は、新型コロナウイルス感染拡大以来久々の実施となり、心臓マッサージで皆が疲れてしまった。

冬期軽スポーツ大会

救命講習会の後は、24名が参加して軽スポーツのディスクゲッターと輪投げで汗を流した。ディスクゲッター成績は、1位 菅原浩孝さん 2位 菅原昭悦さん 3位 熊谷千代子さん。輪投げ競技では距離を今までの4メートルから、今回は5メートルに長くして競技したところ、なかなか点数が入らず、ゲームが面白くなった。成績は、1位 熊谷和紀さん 2位 熊谷秀夫さん 3位 熊谷千代子さんであった。

市内最大のこども園が開園する

石鳥谷保育園と善隣館保育園が統合して、令和6年度から石鳥谷駅東口近くに幼保連携型認定「いしどりやこども園」として新築移転し4月3日に開園式を行った。新園舎は木造平屋建て、延べ床面積1192平方メートルで利用定員はニーズの高い0歳児の受け入れ枠を増やし、1号認定（教育）の園児も受け入れ、市内最大規模の165人定員で新年度は職員32名と園児123人でスタートした。現在の園児募集は地元には拘らないため、親の希望で園を選べるので一概には言えないのだが、このこども園には、大瀬川からの園児は1名と聞いている。ちなみに、石鳥谷保育園は昭和47年に大瀬川保育園と八日市保育園が統合し、県道花巻温泉線に建てられた。当時は送迎バスもあり、園児の遊ぶ声が白樺のある園庭に聞こえていた52年間が思い出される。

「大瀬川の風景・大瀬川館周辺」上映会

あじさいの会（板垣福子会長）では3月13日に大瀬川活性化会議が製作した「大瀬川の風景・大瀬川館周辺」の動画を34名が鑑賞した。この動画は、2年前に館山周辺の立木が広域的に伐採され、現れた館の姿を遺すためにドローンを使って撮影したもの。

その映像は、大瀬川橋～黒森神社～東北自動車道～大瀬川原生花菖蒲園～大瀬川城址～館山～木ノ宮周辺などが映され、バックミュージックが流れる中を、テロップでの説明を加えたものであった。菅原房子さんは「こうして映し出された空からの風景をみると大瀬川の良さを再認識しました」と話していた。

第128回大瀬川戦没者慰霊祭

大瀬川戦没者慰霊祭実行委員会（藤原利博委員長、委員45名）主催の第128回大瀬川戦没者慰霊祭は、4月3日に18名が出席して慰霊碑前で開かれた。

菊池宏熊野神社宮司のもと、大瀬川神楽に合わせて藤原利博委員長、板垣邦博遺族会代表、畠山孝二住民代表がそれぞれ玉串を奉奠した。終了後に菊池宮司から「こうして大瀬川のみなさんが慰霊祭を続けておられることに敬意を申し上げます」とお言葉があった。藤原委員長は「みなさんにはお忙しいところ慰霊祭にお出で下さりありがとうございます。これからも絶やすことのないように続けて参りますのでみなさまのご協力をお願いします」と挨拶した。

この日は慰霊祭に先立ち、午前6時から慰霊祭実行委員20名が参加して戦没者慰霊碑周辺の清掃を行った。例年、駐車場をはじめ慰霊碑周辺は多くの落ち葉で埋め尽くされていたのだが、割に少なかったのが板垣光善公葬地管理人にたずねたところ「例年は数回の除雪時に、落ち葉も一緒に払われていたが、今冬は除雪の必要がなかったため、落ち葉が酷い状態でした。そこで、彼岸まえに落ち葉掃除をしました」とのこと。管理人さんは、このように私達が知らずとも地区に尽くしていることを知った。ありがたいことである。

慰霊祭実行委員会総会に規約を改正

戦没者慰霊祭終了後に、大瀬川振興センターで14名が出席して大瀬川戦没者慰霊祭実行委員会の総会が開かれた。今回の総会で規約を改正し、これまで2年に1回役員改選の年、大瀬川全体の会員（178戸）を対象に開いていた総会を、実行委員会役員のみで行えるよう決定した。今後総会案内は大瀬川全員にではなく、役員にのみ通知となる。

BSで野宿地研究が放映中

宮沢賢治が野宿した場所を研究している大島志文文教大学教授による「宮沢賢治と宇宙」がBS231チャンネルの放送大学で放映されている。

今回は、4月21日の午前8時15分から放送される。大瀬川の方々や割沢の野宿地を案内した先生で、素人でもわかりやすい授業なのでご覧いただきたい。

大瀬川考（その一）「林長根」

藩政末期に書かれたと思われる渡家古文書に「・・・馬頭まで続く林長根の・・・」の文章がある。一部分しか読めなかったが木の伐採に関する古文書であった。「長根」とは台地の分水嶺を指し、山の分水嶺は「尾根」という。

藩政時代の公文書である「小屋敷絵図」にその「林長根」が描かれている。この絵図は、天保13年の地押しに基づき嘉永元年に作成した公文書絵図で図面作成までに6年を要している。この絵図に描かれているのは、田中堤跡の少し西側にある辻村家一族の墓地から林家（辻村勝俊さん）～西館家（西館勝さん）～新助家（菅原敏幸さん）～上野々竈家（菅原秀起さん）～野子家（辻村雅之さん）～馬墓所（うまはかどこ）～御所森（大瀬川公葬地）～立野家（板垣匡俊さん）～九口竈家（板垣武美さん）～與五郎家（板垣厚さん）～東竈家（板垣忠雄さん）～旧西田家（故辻村梅治さん）～萬吉竈家（菅原新一郎さん）附近で大瀬川絵図は終わっている。また、石鳥谷歴史資料館にある絵図に続きが窺われるのがあって、続いては花北青雲高校～物見山住宅～ジョイス～馬頭家（藤原禅伍さん）へと続いていたのが分かる。

この小屋敷絵図には水上山から林長根の現在の菅原新一郎さん付近まで途切れることなく立木が描かれていた。

林長根の伐採で風景が一変

現在、林長根の立木を伐採している最中である。起点は辻村睦さんの南側から大瀬川公葬地まで870mの台地。伐採業者は、館山付近を伐採した同じ菊池林業。市道林線（たばこ家～旧田中堤）から見れば、ところどころ伐採が途切れているように見えるが、菅原弘雄さんの話によると、立木の質が思わしくないことと、業者も手間にならないとかで伐採に含めてもらえないところもあるのだとか。長年見慣れた風景が一挙に変わると、大瀬川ではなく他の地に来た感じがする。

編集室の窓

かつて石鳥谷中学校の運動会は4月29日の天皇誕生日（現みどりの日）に行われて、桜の花吹雪舞う中で子供たちの熱戦を応援していたものである。その頃に比べて年々桜の開花は早まり、この冬は積雪も少なく暖冬で春の訪れも早いと思っていた。

昨年のみつくら4月号を見たところ、コブシの咲き始めが3月27日で、地域内の桜が4月7日には満開と記事があった。今年はコブシよりも梅の方が先に咲き始め、4月7日でやっとコブシが咲き始めている。さて、運動公園の桜の開花はいつ頃か、ライトアップになるのか楽しみである。

ちなみに、ここ数年、大瀬川で一番最初に桜が咲くのは柳原美智子さん宅であったが、今年はどうだろうか。早まる春の訪れとともに、その先の季節について昨年のような猛暑がまたやってくるのではないかと水不足を含めいろいろ心配になる。